

CCDバーコードタッチリーダー ACシリーズ

共通取扱説明書

ご使用前に必ずお読み下さい

株式会社 エイポック

【本書について】本書は製品をはじめてお使いになる方にお読みいただく説明書です。さらに詳しい設定を知りたいときは別冊の「設定用バーコード 増補版」(ダウンロード配布)をお読み下さい。

目次

取り扱い上の注意	1-2
はじめに	3
第1章 概要	4
1-1 製品概要	4
1-2 型式・適応機種	4
1-3 各部の名称	4
第2章 仕様・保証	5
2-1 製品仕様	5
2-2 保証	5
第3章 接続方法	6
3-1 対応機種	6
3-2 バーコードリーダの接続	6-8
3-3 操作方法	8
3-4 動作テスト	8
第4章 故障・お手入れ	9
4-1 故障かなと思ったら	9
4-2 お手入れ	9
第5章 機能設定	10
5-1 設定方法	10
5-2 設定変更の例	10
第6章 メニューシート	11
6-1 環境設定（初期設定）	11
6-2 動作機能設定（スイッチ、ブザー、その他）	12-14
6-3 バーコード読取設定	15
6-3-1 UPC-A	15
6-3-2 UPC-E	16
6-3-3 EAN-13/JAN-13	17
6-3-4 EAN-8/JAN-8	18
6-3-5 CODE-39	19
6-3-6 インターリーブド2 of 5 (ITF)	20
6-3-7 NW7	21
6-3-8 CODE-128	22
6-3-9 CODE-93	22
6-4 データ転送フォーマット（ENTER・TAB、その他）の設定	22-27
6-5 バーコードテストチャート	28
シリアルナンバー連絡票	巻末

[注意]

1. 本製品の仕様および本取扱説明書は、改良のために予告なしに変更する場合があります
2. 本取扱説明書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

取り扱い上の注意

本取扱説明書には、製品を安全に正しくお使い頂くための注意事項が記載されています。製品をご使用になる前に必ずお読みになり、注意事項を守ってご使用下さるようお願いいたします。

製品を安全に正しくお使い頂き、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、本取扱説明書では、次の絵表示をしています。

絵表示の意味は次の通りです。



警告

厳重に守って頂きたい事項。
その指示に従わないと、生命の危険または
重傷を負う恐れがあります。



注意

安全上、特に注意して頂きたい事項。
その指示に従わないと、障害を負う恐れ、
または物的損害を引き起こす恐れがあります。



警告

- 開口部から、金属類、液体などの異物を入れないで下さい。 →故障・感電・火災の原因になります。
- 故障した状態のまま使用しないで下さい。 →感電・火災の原因になります。
- 直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い所や水を使う場所、暖房機器などの発熱物の近くでは使用しないで下さい。 →事故・感電・火災の原因になります。
- ケーブルなどの上に、重いものを乗せたりしないで下さい。また、ケーブルをねじったり強く引っ張ったりしないでください。 →ケーブルの断線等が発生し、故障・感電・火災の原因になります。
- 本器を絶対に分解しないで下さい。 →故障・感電・火災の原因になります。



注 意

- 長期的な振動や強い衝撃を与えないで下さい。 → 故障の原因になります。
- ラジオやテレビに近づけないで下さい。 → ラジオやテレビに雑音が入る場合があります。
- 強い磁界が発生するような場所や装置の近くで使用しないで下さい。 → ノイズが入り、正常に動作しなくなることがあります。
- 温度が激しく変化する場所に放置しないで下さい。 → ケースが変形したり、故障の原因になります。
- 揮発性の有機溶剤などや薬品、科学雑巾で拭かないで下さい。 → ケースの変形や変色の原因になります。
- 本器への入力電圧はDC5V±5%です。異なる電圧では使用しないで下さい。 → 故障の原因になります。

はじめに

このたびは、本製品をご購入頂き誠にありがとうございます。
本書は、CCDタッチリーダーACシリーズの取り扱い方法について説明するものです。
ご使用前にお読みの上、正しい使い方でご使用いただきますようお願いいたします。



- 本器は、人体の保護を目的とした安全装置には、使用しないで下さい。
- 指定者以外の方は、保守・点検・修理を行わないで下さい。
- 取扱説明書に記載のない環境での使用、その他人命や財産に大きな影響が予想される用途で使用される場合、定格、性能に対して余裕を持った使い方やフェールセーフ等十分な安全対策を配慮していただくと共に、当社営業担当までご相談願います。

第 1 章 概要

1-1 製品概要

本装置はバーコード読取・入力装置です。

読み取ったバーコードデータをキーボードデータとしてパソコンに入力します。

1-2 型式・適応機種

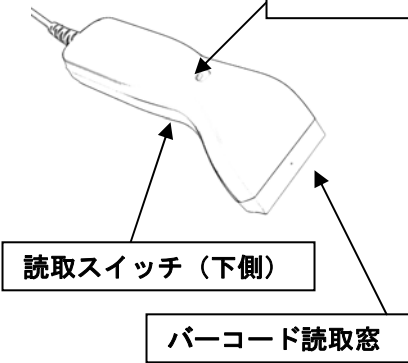
型式：AC-□00□

- U・・・USB インターフェース
- K・・・DOS/V キーボードインターフェース
- 7・・・CCD バーコードタッチリーダ 70mm 幅
- 8・・・CCD バーコードタッチリーダ 82mm 幅

1-3 各部の名称

本体

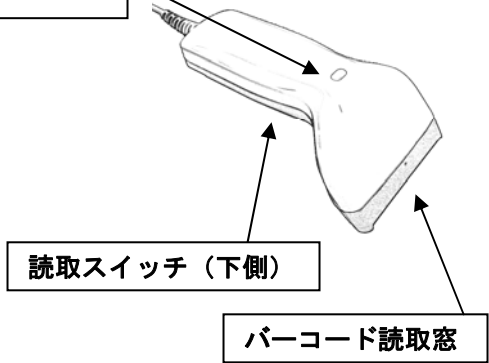
【AC-700□】



表示LED

バーコードを読み取ると点灯します

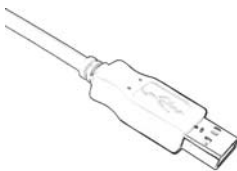
【AC-800□】



ケーブル

【AC-□00U】

バーコードリーダ本体に専用USBケーブルが接続されています。

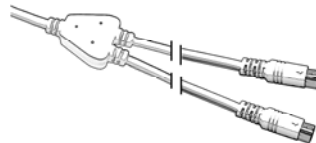


USBコネクタ

パソコンに接続します

【AC-□00K】

バーコードリーダ本体に専用Yケーブル（分岐ケーブル）が接続されています。



PS/2 (Mini-Din6Pin) コネクタ

- 1) オス側はパソコンのキーボードコネクタに接続します（紫色のコネクタ）
 - 2) メス側はパソコンのキーボードを接続します
- ※コネクタのピンの位置にご注意下さい
※マウスは接続できません

第 2 章 仕様 - 保証

2-1 製品仕様

仕様		AC-700U	AC-800U	AC-700K	AC-800K
	読取バーコード	UPC-A/E EAN/JAN-8, 13 CODE-39 Interleaved2of5 (ITF) NW-7 CODE-128 CODE-93			
	読取幅	70mm	82mm	70mm	82mm
	分解能	0.127mm (PCS 0.9 以上)			
	PCS 値	0.3 以上			
	読取距離	25mm (分解能 0.38mm PCS0.9 以上)			
	光源	赤色 LED 660nm			
	読取センサー	CCD			
	読取確認	ブザー音 及び 表示 LED			
	インターフェース	USB Ver1.1 準拠		DOS/V キーボード インターフェース	
	重量(ケーブル除く)	135g	145g	135g	145g
	電源	DC+5V±5%			
	ケーブル長	1.8M (ストレートケーブル)		1.8M (Y型分岐ケーブル)	
環境	衝撃	1M より落下 (コンクリート上)			
	使用温度	0~40°C			
	使用湿度	10~90% (非結露、非結氷)			
	保存温度	-10~60°C			
	保存湿度	5~95% (非結露、非結氷)			
	規格	FCC クラス A、CE			

2-2 保証

1. 製品の無償保証期間は、ご購入日より1年間とさせていただきます。
ただし、期間中でもお客様の取り扱い及び保管上のミスによる損傷は対象外となります。
(ケーブル・コネクタ・消耗品は対象外となります。)
2. 本取扱説明書に添付しているシリアルナンバー連絡票をご記入の上、
FAX にてご連絡を下さるようお願い致します。
ご連絡を頂いていないと、保証を受けられない場合がありますのでご了承下さい。
3. 本製品の運用の結果生じた損失については、
一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
4. 製品の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

第3章 接続・操作

3-1 対応機種

製品型式	AC-700U、AC-800U	AC-700K、AC-800K
パソコン	各社 DOS/V パソコン USB ポートが動作・使用可能な パソコン	各社 DOS/V パソコン PS/2 キーボードポートが 動作・使用可能なパソコン
OS	Windows98/Me/2000/XP	MS-DOS Windows3.1/95/98/Me/NT/2000/XP

制限事項：USB インターフェース、キーボードインターフェースは全ての機器での動作を保証するものではありません。

3-2 バーコードリーダの接続

3-2-1 USBインターフェース・バーコードリーダの接続 (AC-700U、AC-800U)

【接続の概要】

パソコンの起動



USBインターフェース・バーコードリーダの接続



ドライバのインストール

Windows98：マウスとキーボードを使用してインストールウィザードを操作します
WindowsMe/2000/XP：OSが自動インストールします



接続（セットアップ）の完了

3-2-2 USBインターフェース 接続の方法 (1) Windows98 のパソコン

- (1) バーコードリーダのUSBコネクタをパソコンのUSBポートへ接続します。
- (2) パソコンの画面に「ドライバの接続ウィザード」ダイアログ画面が開きます。
「このデバイス用の新しいドライバを探しています。しばらくお待ち下さい」というメッセージが表示されたら「次へ」をクリックします。
- (3) 「検索方法を指定して下さい」と表示されたら
「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をチェックし、「次へ」をクリックします。
- (4) ドライバの検索先指定ダイアログが表示されます。
「検索場所の指定」をチェックし、白い枠内に半角で「C:\WINDOWS\INF」と入力します。入力したら「次へ」をクリックします。
- (5) 「USBヒューマンインターフェースデバイス」「このデバイスに最適なドライバをインストール準備ができました」と表示されたら「次へ」をクリックします。
- (6) 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されたら「完了」をクリックします。
USBのドライバセットアップが完了します。

備考：パソコンの環境によっては、OS (Windows98) の CD-ROM を求めるメッセージが表示されることがあります。あらかじめ OS の CD-ROM をご用意ください。

3-2-3 USBインターフェース 接続の方法 (2) WindowsMe/2000/XP のパソコン

- (1) バーコードリーダのUSBコネクタをパソコンのUSBコネクタへ接続します。
- (2) Windows が自動的にUSB ドライバのインストールを開始します。
- (3) パソコンの画面に、「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」と表示されるまでお待ちください。表示されると、セットアップは完了です。

3-2-4 キーボードインターフェース・バーコードリーダの接続 (AC-700K、AC-800K)

【接続の概要】

[接続環境 1] デスクトップパソコン 及び ノートパソコンでテンキーボードを併用
パソコンの電源をオフ



キーボードインターフェース・バーコードリーダの接続



パソコンの電源をオン (システムの起動) (ドライバは不要)



接続の完了

[接続環境 2] ノートパソコン (Yケーブルのメスコネクタが未使用の状態)

パソコンの電源をオフ



キーボードインターフェース・バーコードリーダの接続



パソコンの電源をオン (システムの起動) (ドライバは不要)



バーコードリーダの設定変更 (設定用バーコードを読み取り、ノートブック用に設定)



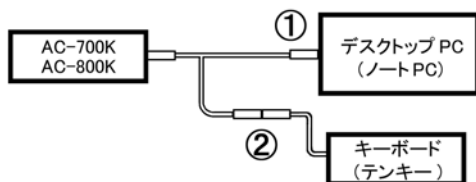
パソコンを再起動



接続の完了

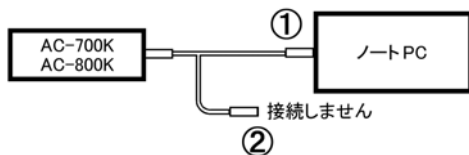
3-2-5 キーボードインターフェース 接続の方法 (ケーブルの接続方法)

[接続環境 1] デスクトップパソコン 及び ノートパソコンでテンキーボードを併用



- (1) 接続するパソコンの電源をオフにします。
- (2) パソコンからキーボードのコネクタを抜き取ります。
- (3) Yケーブルのオスコネクタを、パソコン本体のキーボードコネクタに接続します。(図：①)
- (4) Yケーブルのメスコネクタを、キーボードと接続します。(図：②)
- (5) パソコンの電源をオンにします。システムが立ち上がったら、パソコンのキーボードから文字入力可能か確認して下さい。

[接続環境2] ノートパソコン（Yケーブルのメスコネクタを未使用）



- (1) 接続するパソコンの電源をオフにします。
- (2) ケーブルのオスコネクタを、ノートブックパソコンの「テンキーボード／マウスコネクタ」に接続します
(図：①)

- (3) デスクトップパソコンの電源をオンにします。
- (4) バーコードリーダーで「ノートブック設定 (P12)」を読み取って設定を行います。
設定変更の方法は「5-1 設定方法 (P10)」を参照して下さい。
- (5) パソコンを再起動します。

【備考】

ケーブルのメスコネクタは空いた状態です。(図：②)

メスコネクタに「テンキーボード」を接続するときは「初期設定 (デスクトップ設定)」で動作します。

【ご注意】

- (A) コネクタのピンの位置と方向を確認して接続してください。
- (B) コネクタは根元までしっかりと接続して下さい。
- (C) メスコネクタに「マウス」は接続できません。

3-3 操作方法

- (1) バーコードリーダー本体の読取スイッチを押下すると、読取窓の赤色LEDが点灯します。
- (2) 読取窓をバーコードに接触させます。
バーコードを読み取ると、以下1、2の動作をします。
 1. 読取確認のブザーが鳴動します。
 2. 読取確認用の表示LEDが点灯します。
- (3) パソコンのアプリケーションのカーソル部（キーボード入力待ち部分）にバーコードデータが入力・表示されます。

3-4 動作テスト

バーコードリーダーの接続が完了したら、下記の手順で簡単な動作確認が出来ます。

- (1) Windows の画面上にあるタスクバーから「スタート> (すべての) プログラム> アクセサリ> メモ帳」を選択し、「メモ帳」を開きます
- (2) バーコードリーダーでバーコードを読み取ります。
「第6章 6-5 (P28) バーコードテストチャート」などを読み取らせて下さい。
- (3) 「メモ帳」にバーコードデータが入力・表示されます。

正常に動作しない場合はご購入元までお問い合わせ下さい。

第4章 故障・お手入れ

4-1 故障かな?と思ったら

バーコードリーダを使用中に「故障かな?」と思われる症状が起きたら、まずこの表を参考にチェックして下さい。

もし、この表の対策を行っても症状が消えない場合は、ご購入元にご相談下さい。

症状	原因	対策
バーコードを読み取ってもパソコンの画面にバーコードデータが表示されない	1. コネクタが接続されていない	1. コネクタを接続して下さい
	2. コネクタが正しく接続されていない	2. コネクタを正しく接続して下さい [備考] AC-□00K をノートブックパソコンに接続するときは「第3章 3-2-5 接続の方法」を参照し、正しい接続と設定を行って下さい
	3. AC-□00U をパソコンに接続したときに、USB ドライバが正常にインストールされなかった	3. バーコードリーダをパソコンから取り外し、パソコンを再起動します。「第3章 3-2」を参照し、再度バーコードリーダの接続を行って下さい [備考] パソコンの USB ポートが動作していないことがあります。 パソコンが複数台ある場合は、他のパソコンに接続してお試し下さい
読み取りが悪い	1. 読み取り窓が汚れている	1. 読み取り窓を清掃して下さい
	2. バーコードが汚れている、正しく作成されていない	2. 他のバーコードを読み取って本体が正常に動作しているか確認して下さい [備考] 動作確認の方法は「第3章 3-4 動作テスト」を参照して下さい
パソコンの画面にバーコードデータが正しく表示されない	読み取り設定が異なっている	使用する内容に適切な読み取り設定を行って下さい

4-2 お手入れ

バーコードリーダの読み取り窓は、乾いた柔らかい布やガーゼ等でこまめに拭いて、常にきれいな状態を維持して下さい。

第 5 章 機能設定

機能設定を行う前に

ご購入時の製品は「初期設定」済みの状態です。(メニューシートの★印の項目が設定済み)
「第 3 章 3-4 動作テスト (P8)」を参照し、バーコードリーダーの操作及びバーコードの読み取り動作をお試し下さい。機能設定は必要に応じて変更して下さい。

はじめに機能設定が必要な使用環境

キーボードインターフェース (型番: AC-□□00K) をノートブックパソコンに接続し、バーコードリーダーのみを接続する場合は「ノートブック 設定 (P12)」を行う必要があります。
下記の「5-1 設定方法」を参照し、「ノートブック設定」を行って下さい。

5-1 設定方法

設定手順

「第 6 章 メニューシート」の設定バーコードを読み取り、各種の設定を行います。
設定内容は電源を切った後も保存されています。

- (1) **設定開始**バーコードを読みませる。
 - ・ブザー (メロディ) が鳴り、設定モードに移行します。
- (2) 各設定バーコードを読みませる。
 - ・設定項目によっては複数の設定バーコードを読みませます。
 - ・この設定を行っている最中に読み取りエラーが発生した場合は設定無効を知らせるブザーが 5 回鳴動します。その場合は再度、設定バーコードを読み取ります。
設定バーコード以外のバーコードは読み取らせないで下さい。
- (3) **設定終了**バーコードを読みませる。
 - ・ブザー (メロディ) が鳴り、設定モードを終了します。

5-2 設定変更の例

例 1. バーコードを読み取った後に「末尾コードを転送しない」設定を行う
※「末尾コード」とは読み取ったバーコードデータの後に転送される「ENTER (改行)」または「TAB」です。出荷時設定では「ENTER」が転送されるように設定されています。

読み取る順番	読み取る設定用バーコード
1	設定開始バーコード
2	末尾コードを転送しない
3	設定終了バーコード

例 2. バーコードリーダーの読取ブザー音量を「大」の設定を行う

読み取る順番	読み取る設定用バーコード
1	設定開始バーコード
2	ブザー音量設定 大 1
3	ブザー音量設定 大 2
4	ブザー音量設定 大 3
5	ブザー音量設定 大 4
6	設定終了バーコード

※ 1~6 を順番に読み取らせると 1 つの設定 (ブザー音量「大」) が設定されます

第 6 章 メニューシート

6-1 環境設定 (初期設定)

初期設定 (出荷時設定)

- ・ 1～15 のバーコードを順番に読み取ると、初期設定 (出荷時設定) に設定されます。
- ・ 各設定項目の初期設定値は☆印が記載されています。

1. 設定開始 (モデム鳴動)



1 0. 読取フザ-音量 1 (フザ-鳴動)



2. インターフェイス設定 (モデム鳴動)



1 1. 読取フザ-音量 2 (フザ-鳴動)



3. 設定再開 1 (モデム鳴動)



1 2. 読取フザ-音量 3 (フザ-鳴動)



4. 機能初期化 (モデム鳴動)



1 3. Capslock 設定 (フザ-鳴動)



5. 設定再開 2 (モデム鳴動)



1 4. ITF 読取許可 (フザ-鳴動)



6. 転送速度 (フザ-鳴動)



1 5. 設定終了 (モデム鳴動)



7. 日本語キーボード設定 (フザ-鳴動)



8. 複数照合設定 (フザ-鳴動)



9. 読取フザ-音量設定 (フザ-鳴動)



6-2 動作機能の設定

設定開始

設定終了



Caps Lock 設定

Caps Lock ON (バーコードリーダーのCaps LockをONに設定)



☆Caps Lock OFF (バーコードリーダーのCaps LockをOFFに設定)



無視 (読み取ったバーコードのキャラクタをそのまま転送する)

※パソコンによってはご使用になれない場合があります。



省電力モード

バーコードリーダーをノートブックPCに接続する場合は「省電力モード」に設定することを推奨します。

「省電力モード」の設定では赤色LEDの点滅回数が減少します。

☆通常モード



省電力モード



デスクトップ/ノートブック接続設定

※この設定はキーボードインターフェース (型番AC-□00K) 専用です。

☆デスクトップ設定



ノートブックPCでも
メスコネクタにテンキーを
接続するときはこちらの
設定です

ノートブック設定

⇒USB製品は設定しないで下さい



ケーブルのメスコネクタに
何も接続しないときに設定
します

設定開始

設定終了



起動（電源オン）時のブザー設定

バーコードリーダーに電源が入るとブザーが鳴ります。

音を消す時は「ブザーなし」に設定します。

☆ブザー音有り

ブザー音無し



読み取り確認ブザー

☆ブザー音有り

ブザー音無し



ブザー音量設定

それぞれ1～4を順番に読み取らせます。

☆小（初期設定）

大

1.

1.



2. ↓

2. ↓



3. ↓

3. ↓



4. ↓

4. ↓



設定開始



設定終了



スイッチモード設定

☆タイムアウト オフ

バーコードを読み取る時はスイッチを押します。バーコードを読み取った後も赤色LEDは点灯状態が継続します。

何も読み取らせない状態で15秒が経過すると赤色LEDは消灯します。



モーメンタリ

スイッチを押し続けている間、赤色LEDが点灯し、スイッチを離すと消灯します。

バーコードを読み取ると赤色LEDは消灯します。



オルタネート（交互切替）

赤色LEDの点灯、消灯はスイッチを押すたびに交互に切り替わります。

バーコードを読み取った後も赤色LEDは点灯し続けています。





コンティニュー（連続点灯）

赤色LEDが連続点灯します。スイッチは無効です。



6-3 バーコード読取設定

設定開始	設定終了
	

6-3-1

UPC-A

転送フォーマット

0 (ゼロ) 付加	データ 11 桁	チェックデジット	※アドオン(2桁/5桁)
-----------	----------	----------	--------------

※「アドオン」はUPC-Aの付加コードです。

読取許可









☆読取許可



読取禁止



0 (ゼロ) 付加設定 それぞれ 1~4 を順番に読み取らせませす。

<p>☆付加する (13 桁で転送)</p> <p>1. </p> <p>2. ↓ </p> <p>3. ↓ </p> <p>4. ↓ </p>	<p>付加しない (12 桁で転送)</p> <p>1. </p> <p>2. ↓ </p> <p>3. ↓ </p> <p>4. ↓ </p>
--	--

チェックデジット転送

☆転送する



転送しない



アドオン

☆アドオン読取禁止



アドオン 2 桁読取許可



アドオン 5 桁読取許可



設定開始

設定終了



6-3-2

UPC-E

転送フォーマット

先頭0 データ6桁 チェックデジット

※アドオン (2桁/5桁)

※「アドオン」はUPC-Eの付加コードです。

読取許可

☆読取許可



読取禁止



桁数調整0の付加 それぞれ1～4を順番に読み取らせませす。

☆付加する

1.



2. ↓



3. ↓



4. ↓



付加しない

1.



2. ↓



3. ↓



4. ↓



チェックデジット転送

☆転送する



転送しない



アドオン

☆アドオン読取禁止



アドオン2桁読取許可



アドオン5桁読取許可



設定開始

設定終了



6-3-3

EAN-13/JAN-13

データ転送フォーマット

データ 12 桁

チェックデジット

※アドオン (2 桁/5 桁)

※「アドオン」はEAN-13の付加コードです。

読取許可

☆読取許可



読取禁止



チェックデジット転送

☆転送する



転送しない



アドオンコード

☆アドオン読取禁止



アドオン 2 桁読取許可



アドオン 5 桁読取許可



設定開始

設定終了



6-3-4

EAN-8/JAN-8

転送フォーマット

データ7桁

チェックデジット

※アドオン (2桁/5桁)

※「アドオン」はEAN-8の付加コードです。

読取許可

☆読取許可



読取禁止



チェックデジット転送

☆転送する



転送しない



アドオンコード

☆アドオン読取禁止



アドオン2桁読取許可



アドオン5桁読取許可



設定開始

設定終了



6-3-5

CODE-39

データ転送フォーマット

スタート*	バーコードデータ (可変長)	※C/D	ストップ*
-------	----------------	------	-------

※C/D：チェックデジットはバーコードのオプションキャラクタです。

読み取らせるバーコードに付加されているか、付加されていないかをご確認ください。

読取許可

☆読取許可

読取禁止



スタート、ストップキャラクタ転送

CODE-39のスタート、ストップキャラクタは「*」です。

☆転送しない

転送する



チェックデジット (C/D) 照合

CODE-39のチェックデジット計算方法は「モジュラス43」です。

☆無効 (C/D無し)

有効 (C/D有り)



チェックデジット (C/D) 転送 (C/D「有効」設定時に設定可能です)

☆転送しない

転送する



設定開始

設定終了



6-3-6

インターリーブド2 of 5 (ITF)

転送フォーマット

バーコードデータ (※1. 可変長)	※2. C/D
--------------------	---------

※1. 物流コードでは通常14桁、または16桁です。

※2. C/D: チェックデジットはバーコードのオプションキャラクタです。

読取許可

☆読取許可



読取禁止



チェックデジット (C/D) 照合

インターリーブド2 of 5のチェックデジット計算方法はモジュラス10です。

☆無効



有効



チェックデジット (C/D) 転送 (C/D「有効」設定時に設定可能です)

☆転送しない



転送する



設定開始

設定終了



6-3-7

NW-7

転送フォーマット

スタート	バーコードデータ (可変長)	※C/D	ストップ
------	----------------	------	------

※C/D：チェックデジットはバーコードのオプションキャラクタです。

読み取らせるバーコードに付加されているか、付加されていないかをご確認ください。

読取許可

☆読取許可



読取禁止



スタート・ストップキャラクタ転送

☆転送しない



転送する



スタート・ストップキャラクタ設定

a b c d / a b c d



☆A B C D / A B C D



チェックデジット (C/D) 照合

チェックデジットはオプションです。

NW-7のチェックデジット計算方法はモジュラス16です。

☆無効



有効



チェックデジット (C/D) 転送 (C/D「有効」設定時に設定可能です)

☆転送しない



転送する



設定開始

設定終了



6-3-8

CODE 128

転送フォーマット

バーコードデータ (可変長)	C/D (非転送)
----------------	-----------

※C/D：チェックデジットはバーコードのオプションキャラクタです。
通常はCODE 128に付加されています。

読取許可

☆読取許可



読取禁止



6-3-9

CODE-93

転送フォーマット

バーコードデータ (可変長)	C/D 1, C/D 2 (非転送)
----------------	--------------------

※C/D：チェックデジットはバーコードのオプションキャラクタです。
通常はCODE 93に付加されています。

読取許可

読取許可



☆読取禁止



6-4 データ転送フォーマットの設定

設定開始

設定終了



データ末尾コード転送

データ転送フォーマット

バーコードデータ

末尾コード（「ENTER（改行）」または「TAB」）

☆末尾コードを転送する

末尾コードを転送しない



末尾コードの設定

それぞれ1～4を順番に読み取らせます。

☆「ENTER（改行）」を設定する

1.



2. ↓



3. ↓



4. ↓



「TAB」を設定する

1.



2. ↓



3. ↓



4. ↓



設定開始

設定終了



コードID転送

データ転送フォーマット

コードID (先頭)	バーコードデータ	コードID (末尾)
------------	----------	------------

コードID転送

バーコードを読んだとき、読み取ったバーコードの種類を示すコードIDが転送されます。転送されるIDについては下記の「コードID表」を参照してください

転送許可

☆転送禁止



コードID転送位置

コードID転送を許可した時、コードIDを付加する位置を指定します

☆バーコードの先頭に付加

バーコードの末尾に付加



コードID表

バーコードの種類	コードID
UPC-A	A
UPC-E	E
EAN-13/JAN-13	F
EAN-8/JAN-8	FF
CODE-39	M
インターリーブド2 of 5	I
NW-7	N
CODE-128	K
CODE-93	L

桁指定数値

設定開始

設定終了



読取桁数設定

バーコードデータ入力の信頼性を向上させる設定です。

- ・バーコードの種類ごとに読取桁数の設定を行います。

特に「インターリーブ2 of 5」ではバーコードの特性上、誤読が発生しやすいので桁数設定を行うことを推奨します。

- ・最小／最大読取桁数の設定範囲はそれぞれ「1桁～48桁」です。

□最小読取桁数を設定すると、設定した桁数以上のバーコードのみ読み取ります。

□最大読取桁数を設定すると、設定した桁数以下のバーコードのみ読み取ります。

- ・最小読取桁数と最大読取桁数を同じ桁数に設定すると、設定した桁数のバーコードのみ読み取ります。

設定方法：設定バーコードを読み取らせる順番

1. 設定開始バーコード



最小読取桁数を指定する時

2. 最小読取桁数指定バーコード

P27の表を参照し読取桁数を制限するバーコードを読み取って下さい。

最大読取桁数を指定する時

2. 最大読取桁数指定バーコード

P27の表を参照し読取桁数を制限するバーコードを読み取って下さい。



3. 数値2桁（※00～48）※00は制限無し

<例：01=1桁、02=2桁、・・・48=48桁>

P27の表を参照して読取指定する桁数（0～48桁の範囲）を設定します。

桁指定数値バーコード（0～9の数字バーコード）を2つ選択して

読み取って下さい。

1つめは「10の位」の数値、2つめは「1の位」の数値を読み取ります。



4. セット

必ず読み取らせてください



5. 設定終了バーコード

設定開始











設定終了



読取桁数設定用バーコード

バーコードの種類	最小読取桁数指定	最大読取桁数指定
CODE-39		
インターリーブド 2of5 (ITF)		
NW7		
CODE-128		
CODE-93		

読取桁数設定用バーコード

0		5	
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	

セット

読取桁数設定用バーコード



6-5 バーコード テストチャート

動作確認にご使用ください。

UPC-A



UPC-E



EAN-13/JAN-13



EAN-8/JAN-8



CODE-39 (チェックデジット無し)



インターリーブド2 of 5



NW-7



CODE-128



CODE-93



※初期設定では、CODE-93は「読取禁止」に設定されています。



株式会社 エイポック

〒230-0051

神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第 2 ビル 5F

TEL:045-508-5201

FAX:045-508-5202

URL:<http://www.a-poc.co.jp/>

E-Mail:info_mail@a-poc.co.jp

No. AC-201005

付録は付属の説明書に記載がない、追加設定などを記載しております。さらに詳しい設定を知りたいときは別冊の「設定用バーコード 増補版」(ダウンロード配布)をお読み下さい。

1. 新雑誌コードの読み取り設定

1-1. アドオン5桁を読み取り許可にする

新雑誌コード(13桁と5桁)を一括で読む設定です。①～④の順で読み取って下さい。

①設定開始



②JAN13 アドオン5桁

JAN13 アドオン5桁 禁止 ◆ (初期値)	
JAN13 アドオン5桁 許可 こちらを読み取って下さい	

③アドオン待ち

アドオン待ち 禁止 ◆ (初期値)	
アドオン待ち 許可 こちらを読み取って下さい	

④設定終了



【備考】

上記の設定で、アドオン5桁の読み落とし頻度が多い場合は次項の「新雑誌コード アドオン待ち時間」を設定し調整して下さい。

1-2. アドオン待ち時間の設定

アドオン5桁の読み落としを少なくする設定です。①～④の順で読み取って下さい。

(注) 事前に「新雑誌コードの読み取り設定」を行ってください。

①設定開始



②アドオン待ち時間

アドオン待ち時間	
----------	--

③ 01～99 の範囲で設定します。初期値は 50 です。

例えば「60」を設定する場合は「6→0」とスキャン。数値が大きいほどアドオンの読み落としが低下しますが、13桁のみのコード読み取りに時間がかかります。

0		5	
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	

④セット



⑤設定終了



2. AC-900B 初期設定

販売終了製品 AC-900B シリーズの初期設定バーコードメニューです。
設定メニューは AC-700/AC-800 シリーズと共通です。

1. 設定開始 (マロテ`イ-鳴動)



2. インターフェース設定 (マロテ`イ-鳴動)



3. 設定再開 1 (マロテ`イ-鳴動)



4. 機能初期化 (マロテ`イ-鳴動)



5. 設定再開 2 (マロテ`イ-鳴動)



6. 転送速度 (フ`ザ`-鳴動)



7. 日本語キーボード設定 (フ`ザ`-鳴動)



8. 複数照合設定 (フ`ザ`-鳴動)



9. 読取フ`ザ`-音量設定 (フ`ザ`-鳴動)



10. 読取フ`ザ`-音量 1 (フ`ザ`-鳴動)



11. 読取フ`ザ`-音量 2 (フ`ザ`-鳴動)



12. 読取フ`ザ`-音量 3 (フ`ザ`-鳴動)



13. Capslock 設定 (フ`ザ`-鳴動)



14. ITF 読取許可 (フ`ザ`-鳴動)



15. スイッチ : モーメンタリ



16. 設定終了 (マロテ`イ-鳴動)

